



日韓6大学によるアジア太平洋カレッジ「キャンパス韓国」「キャンパス日本」がスタート

概要

九州大学韓国研究センター及びアジア太平洋未来研究センターでは、平成26年度から、日韓米3か国で「グローバル人材育成のための日韓米『国際体験型』共同教育プログラム」(文部科学省特別経費採択事業)を実施し、グローバルリーダー育成を目指します。今後5年間で1,000名規模での日韓米国際共同教育を予定しており、この規模での学生交流は、日本で初めての取組です。

1年目の今年度は、日韓6大学の学生140名が、8月14日(木)～22日(金)の「キャンパス韓国」、8月22日(金)～29日(金)の「キャンパス日本」に参加し、6大学の「キャンパスを共有」します。2週間にわたるプログラムでは、英語による共同講義「東アジアの共通課題」、福岡県内の有力企業でのインターンシップ、浴衣を着て博多人形の絵付けや茶道を体験する文化体験等を実施します。特に、8月25日(月)には、別所浩郎駐大韓民国特命全権大使による特別講義「日韓協力：東アジアを越えて世界へ」を予定しています。

背景

本プログラムは、昨年度まで九州大学と釜山大学校の学生100名で行ってきた「日韓海峡圏カレッジ」を大幅に拡大・改編したものであり、国際社会における日韓両国の立ち位置を理解し、日韓を基軸として東アジアの安定を考えるために、日韓及び日韓米の大学が共同で実施する国際共同教育プログラムです。

歴史認識や領土問題に集中しがちな日韓関係を、グローバルな観点から捉え直す機会を提供し、ローカル視点(日韓及び地域連携)とグローバル視点(アジア太平洋地域の国際関係)を併せ持つ「グローバル視点」を備えた若者を育て、世界で活躍する次世代リーダーを育成することを事業の主たる目的としています。

内容

8月14日(木)～29日(金)にかけて、日韓6大学(九州大学、西南学院大学、鹿児島大学、釜山大学校、高麗大学校、延世大学校)の学生140名がこの夏、日韓を往来して6大学の「キャンパスを共有」します。

2年間の教育プログラムの1年目にあたる今年度は、まず「キャンパス韓国」において、(1)英語での講義及びディスカッション、(2)グローバルに活躍する韓国有力企業への企業訪問、(3)日韓の大学生が韓国での体験を発表し合い、相互理解を図るプレゼンテーション、(4)民族衣装を着て伝統楽器の演奏や伝統工芸の制作を行う文化体験等を実施します。次に日本に移動して実施する「キャンパス日本」では、(1)別所駐韓大使による特別講義をはじめとする英語での講義及びディスカッション、(2)福岡県内の有力企業でプレゼンテーション等を行うインターンシップ、(3)日韓の大学生が協力して行うフィールドワーク、(4)浴衣を着て1日を過ごし、博多人形の絵付けや茶道を体験する文化体験等、様々なプログラムを用意しています。

効果

日韓6大学140名の学部学生が、国境を越えてキャンパスを共有するプログラムは日本初の試みです。日韓混成チームによる様々な活動を通して、外国語によるコミュニケーション能力向上はもちろん、現地で多様な視点に接することで相手を理解する柔軟性や協調性を身に付け、日韓を軸として世界で活躍する次世代リーダーとなることを期待しています。

また、短期・長期を含めた海外留学へのキックオフプログラムとして、グローバル人材の育成に大きな成果を上げることが期待されます。

■今後の展開

本プログラムの2年目に当たる来年度には、「キャンパス韓国」「キャンパス日本」に加え、1年目に参加した日韓6大学の学生から20名を選抜し、米国のハワイ大学で3週間の「キャンパスハワイ」を実施する予定です。

今後、本プログラムの実績や韓国の大学と構築した協力体制を土台に、米国の大学との連携も進めていきます。それにより、日韓米による大規模な「国境を超えた」学生交流のモビリティを実現し、九州大学を拠点とする世界レベルでの国際共同教育のプラットフォームを形成します。

【お問い合わせ】

アジア太平洋カレッジオフィス

電話：092-642-2748

FAX：092-642-7374

Mail：cap@jimu.kyushu-u.ac.jp